

| | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---------|------------------------------------|--------------|---------|--------------------|---------|------------------|---------|
| 1. 科目名 (単位数) | 教師論 (中等) (2 単位) | 3. 科目番号 | EDTS1102 | | | | | | |
| 2. 授業担当教員 | 金 龍哲 | | | | | | | | |
| 4. 授業形態 | 講義・グループ討議・ワークシート・レポート・試験 | 5. 開講学期 | 秋期 | | | | | | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 履修条件は特に設けない。 | | | | | | | | |
| 7. 講義概要 | 国際化・情報化・科学技術の発展・環境問題など変化の激しい今日の社会において、学校教育の場においても様々な課題が生じている。この課題を解決するためには、学校教育の主たる担い手である教員の役割や責任が今まで以上に大きくなっている。これからの教員は、教科に関する知識を単に教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもを育成することが求められている。本科目では、教職とは何か、これからの教員に求められる資質・能力とは何か、教員の仕事と役割とはどのようなものか、教員の権利や義務 (サービス・研修・身分保障などを含む) は、法律上、どのように規定されているのかなど教職を志す学生があらかじめ教職について知っておく必要がある事項を考察する。 | | | | | | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職観の変遷について理解するとともに、教師に求められる資質・能力について考察することができるようになる。 2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに、現在の教員養成の現状について考察することができるようになる。 3. 教員の役割と仕事について理解するとともに、現在、教員に期待されている役割について考察することができるようになる。 4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができるようになる。 5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができるようになる。 | | | | | | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <p>○本講義は、学生同士の討議を通して理解を深め、自分の考えを形作ることを重視するので、事前に指定された授業内容について予習しておくことが求められる。</p> <p>○「授業とは教師と生徒とが共に作るもの」という理念から、発言、質問、傾聴、発表などによる主体的な参加を重視し、教職に必要とされる諸資質の向上を目指す。</p> <p>○教職関連の知識や課題について小論文を作成し、グループによる討議またはPP形式での発表を行う (2回を予定)。</p> | | | | | | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>教科書 金龍哲、下山田信一郎編著『職業としての教師』大学教育出版、2014年。</p> <p>参考書 佐藤晴雄『教職概論』(第三次改訂版) 学陽書房、2010年。</p> | | | | | | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職観の変遷について理解するとともに教師に求められる資質・能力について考察することができたか。 2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに教員養成の現状について考察することができたか。 3. 教員の役割と仕事について理解し、教員に期待されている役割について考察することができたか。 4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができたか。 5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができたか。 <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題ワークシート、課題レポート、期末試験、期末レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題ワークシート・課題レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験または期末レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> </table> <p>また、本学の規定に定められている3/4以上の出席が成績付与の条件となることとした。</p> | | | 1. 授業への積極的参加 | 総合点の40% | 2. 課題ワークシート・課題レポート | 総合点の30% | 3. 期末試験または期末レポート | 総合点の30% |
| 1. 授業への積極的参加 | 総合点の40% | | | | | | | | |
| 2. 課題ワークシート・課題レポート | 総合点の30% | | | | | | | | |
| 3. 期末試験または期末レポート | 総合点の30% | | | | | | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>現在、日本では人口の約四分の一を占める人々が教育と関わっているといわれています。文科省の統計によると、現在、56,824校の学校に1,880万人が在学しています。この「巨大産業」を支えているのは、「教育を司る」ことを職業としている197万人の教師たちです。学校は教師と歴史を共にして栄えてきました。公教育制度の中心をなす近代学校の歴史は、教師の役割が「近代的職業」として定着してきた歴史でもあったのです。教師とはどのような職業か、教師にはどのような資質が求められているか、教師の使命と役割とは何か、そして教職のやりがいとは何が、今、何が課題とされているか、等について、教師を目指す皆さんと共に考えていきたいと思えます。</p> | | | | | | | | |
| 13. オフィスアワー | 木曜日 12:30-13:30 メールでの対応は随時可 | | | | | | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | | | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション 講義の概要と方針、進め方、評価方法等について概説。 課題 「いい先生の思い出」 | 事前学習 | 授業で使用する教科書の「はしがき」部分を読んでおく | | | | | | |
| | | 事後学習 | 今までの学校生活を振り返り、「いい先生」のイメージを整理する。 | | | | | | |
| 第2回 | 「いい先生」とは何かについて、話し合い、教職論を学ぶための問題意識を整理する。 | 事前学習 | 発表の準備を行う。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 教室での話し合いを通して、「いい先生」の大まかなイメージをまとめる。 | | | | | | |
| 第3回 | 第1章 教師になる道—教員養成と採用の仕組み | 事前学習 | 第1章「教師になる道」を予習し、不明点などをチェックしておく。 | | | | | | |
| | | 事後学習 | 現行の教員養成と採用の仕組みをまとめる。 | | | | | | |
| 第4回 | 第2章 「子どもが好き」で十分か—教師に求められる | 事前学習 | 「いい先生」のイメージについて振り返りつつ、第2章を予習する。 | | | | | | |

| | | | |
|------|---|------|---|
| | 資質と能力 | 事後学習 | 変化する社会において教師に求められる資質や能力についてまとめる |
| 第5回 | 第3章 教師の服務—全体の奉仕者としての教師 課題① | 事前学習 | 第3章を予習する |
| | | 事後学習 | 教師に課される服務基準、職務上の義務と身分上の についてまとめる |
| 第6回 | 課題① 「教師の不祥事」は如何に語られているか (発表&討論) | 事前学習 | 出された課題について、資料を集め、発表の準備を行 う。 |
| | | 事後学習 | 教師に服務規定と身分上の諸義務に基づき、「教師の 不祥事」の本質についてまとめる。 |
| 第7回 | 第4章 子どもが主役の授業を作る —学びのコーディネーターとしての教師 | 事前学習 | 第4章を予習する。 |
| | | 事後学習 | 子どもが主役の授業とは何か、授業における教師の 役割と注意点をまとめる。 |
| 第8回 | 第5章 「生徒指導」という仕事—ケアする教師 | 事前学習 | 第5章を予習する。 |
| | | 事後学習 | 生徒指導の定義や原則、生徒指導と学習指導との関 係、教師の役割についてまとめる。 |
| 第9回 | 第6章 共に学びともに育つ—子どもの支援者としての 教師 | 事前学習 | 第6章を予習 |
| | | 事後学習 | 子どもの支援者としての教師の役割と子ども支援の 諸課題についてまとめる。 |
| 第10回 | 第7章 学ぶ集団をつくる—学級経営という仕事 課題② | 事前学習 | 第7章を予習し、不明点を整理する |
| | | 事後学習 | 学ぶ集団を育むという視点から、学級担任の仕事に 焦点を置いた学級経営のポイントをまとめる。 |
| 第11回 | 課題② 体罰はなぜいけないのか(発表&討論) 第8章 体罰は払拭できるか—悪しき慣習にみる教職の 権威と特性 | 事前学習 | 第8章を予習し、体罰について資料収集を行い、小論 文を作成する。 |
| | | 事後学習 | 体罰はなぜいけないのか、について討議や授業で扱 った多様な見方について整理する。 |
| 第12回 | 第11章 社会から信頼される学校づくり—不祥事防止と 学校経営 | 事前学習 | 第11章を予習する |
| | | 事後学習 | 事例を参考に、学校のリスク管理と不祥事対策の課 題についてまとめる。 |
| 第13回 | 第12章 子どもは地域で育つ—地域文化の伝承者として の教師 | 事前学習 | 第12章を予習 |
| | | 事後学習 | カリキュラムマネジメントの視点から教育資源とし ての地域文化を理解し、教師の役割をまとめる。 |
| 第14回 | 第13章 教師像の変遷から見た教職観—専門職としての 教師 | 事前学習 | 第13章を予習し、専門職の定義を整理する |
| | | 事後学習 | ほかの専門職との比較を通して、教職が専門職とな るために解決すべき諸課題を整理する。 |
| 第15回 | 第14章 仲間とともに成長する—学び続ける教師 | 事前学習 | 第14章を予習する |
| | | 事後学習 | 教員研修をめぐる制度や政策の現状、課題について まとめる。 |
| 期末試験 | | | |